

令和2年度 具志川高等学校 芸術 書道Ⅰ シラバス
教科担当者 崎浜 かおり

学期	月	配当時間	単 元	教材及び作品名	学 習 内 容 と 留 意 点
一学期	4	2	はじめに	書写から書道へ	・小・中学校の国語科書写から、芸術科書道の意義・内容を理解する。
	5	10	篆刻	篆刻	・各自、姓名印を作成。
			中間考査		・試験最終日を、印の締め切りとする。
	6		漢字の書Ⅰ		・書の分野を理解させ、筆法の基礎・基本を学ぶ。
			楷書		・古典に触れることによって、様々な表現方法を学ぶ。
	7	2		・九成宮醴泉銘	・「楷書の極則」といわれるこの作品から、基本点画を学ぶ。
		2		・雁塔聖教序	・粘りのある線質・運筆を習得する。
		2		・顔氏家廟碑	・太い点画を基調とした雄大でかつ重厚な筆法を
		2		・牛橛造像記	・龍門石窟に刻された鋭さを学び、筆法で表現す
	7	6		・半切	・公募展に向けて、半切サイズにまとめ
		2	実用書	暑中見舞い	・暑中見舞いの書き方を学ぶ。
夏休みの課題					・夏休み明け、期限内に提出した作品は、公募展などに出展。
二学期	9	8	行書	・蘭亭序	・王羲之の作品で最も有名なこの作品から、行書の筆法と全体的な作品のまとめ方について学ぶ。
	10	2	仮名の書	万葉仮名	・仮名の成立過程を理解させ、字形・用筆・運筆に注意しながら臨書する。
		4		変体仮名	
	11	6	連綿	高野切第三種	・流麗の美を学ぶとともに運筆のリズムをつかむ。
	12	4		ちらし書き	・空間の美を理解させる。
		4		清書	・仮名料紙の雰囲気を実似て、半紙にマーブリングをし、「ちらし書き」の作品を清書。
		2	実用書	年賀状	・年賀状のまとめ方を学ぶ。
三学期	1	2	水墨画	竹を描く	・竹を描くことによって、墨色の調整法を学ぶ。
					・遠近法を学び、今後の書作品へも取り入れる。
	2	2	漢字仮名交じりの書	宮沢賢治の詩	・漢字仮名交じりの書について理解させ、近代詩を用いて創作の仕方を学ぶ。
		2		八木重吉の詩	
		2		金子みすゞの詩	
	2	6	創作	自由課題	・自ら題材を選び、個性的な作品を作る。
	3				
		6	実用書	細字硬筆	・目的や形式に応じ、実用的な書を学。(宛名書きや封書の書き方など)